

2020年10月29日～31日

# きらぼしトップスクール

## 宿泊研修「新潟企業視察」

先生。  
「たとえば、欧州委員会がコロナで傷んだ経済を活性化させるために中心的対策として『欧州グリーンディール』を掲げたように、世界中で温暖化ガスの排出を抑える取り組みが行われています。」

なかには、一定の削減基準を満たしていない会社とは取引をしない、という例も出てきている」

環境に配慮した投資や取り組みを実践する企業が利益を上げ、環境問題に背を向ける企業は業績が下がる時代がすぐそこまで来ています。

「経営者は、『グリーン』のどこにビジネスチャンスがあるのかという視点で考えていただきたい。」

中小企業の場合、大規模なグリーン投資は難しいですが、同業他社よりも早く着手すれば、それが強みになる可能性もあります」

DX、グリーンのほかにもサブスクリプションなど、中小企業の実務に活きる学びの多い90分でした。

若手の経営者や後継者、経営幹部が、経営者のマインドやスキルを学ぶ「きらぼしトップスクール」。昨年10月、燕三条（新潟県燕市・三条市）で企業視察を行いました。

燕三条は刃物や金属洋食器で有名な江戸時代

から続く金物の町で、ものづくり企業が集積しています。地方衰退が叫ばれるなか、たくさん企業が工場をいつでも見学できるようにしたことで、世界から視察に訪れる地域になりました。

そんな燕三条の四つの企業を訪問してきました。創業約200年を誇る玉川堂をはじめ歴史ある企業が多く、話を伺った訪問先の企業の社長もトップスクール受講生と同じ「後継者」。課題や悩みは共通しており、受講生は少し先輩である社長のお話を熱心に聞いていました。

### 【受講生の言葉】

・諏訪田製作所の「離職率ゼロ」というパワーワードの裏付けを目の当たりにし、社員を大切にするとい



視察2日目：諏訪田製作所の工場見学で説明を熱心に聞く受講生。

う当たり前だが難しいことを実践していらつしやる姿に感動を覚えました。

・いずれも歴史のある会社で、伝統を継承することの大切さと、時代に合った経営への変革方法などを興味深く拝聴しました。

・地方の製造業ということから、人材難を想像しておりましたが、経営者のお話からも、見せていただいた現場からもそんな様子がなく、さらに若い人の多いことが大変印象に残りました。

### 訪問企業

- ハイサーブウエノ — 厨房機器メーカー
- 玉川堂 — 食器等銅器メーカー
- 永塚製作所 — 園芸用品メーカー
- 諏訪田製作所 — 爪切り等家庭用品メーカー（訪問順）